



消火活動



Fire fighting

火災発生時は、自宅や職場から現場へ駆けつけて消火活動を実施。消防隊員よりも先に到着する場合があります。初期消火や消防隊員の後方支援などをその場に応じて実施します。

消防団 Information 1

町内では今年に入ってからすでに7件の火災が発生。庭などでの野外焼却は、法律で原則禁止されています。火器の使用や後始末には、十分に注意してください。

福智の街を、大切な人を守る



災害対応



Disaster response

災害が起こった場合、地域を知り尽くした消防団の救助活動は大きな力になります。大規模災害時には、発生直後から地域と連携し、避難誘導や救助活動などを行います。

消防団 Information 2

これからの季節は、出水期がやってきます。避難情報の入手方法や避難所・経路の確認、防災備蓄の準備など、豪雨や台風などの風水害への備えをお願いします。

地域のHEROに！



訓練・啓発



Training & Information

平常時には、火災現場での消火を想定した放水訓練などを実施し、有事に備えています。また、消防車での巡回や防火パレード、年末特別警戒の実施などによる啓発活動も展開しています。

消防団 Information 3

福智町消防団員15人が5月14日に、遠賀川流域では平成19年度以来の開催となった「総合水防演習」に参加。消防や警察、自衛隊との合同訓練に汗を流しました。

Special Interview ▶ 田川地区消防署 金田分署長 **沖島 広幸** 中隊長



福智 町を含む下田川地域を主に管轄する「金田分署」の長として消防隊員を束ね、日夜、地域を守っている沖島広幸中隊長。消防・防災面の専門家である沖島さんは、消防団について「同じ過酷な現場で闘う同士のような存在」と力強いまなざしで語ります。その魅力については「地域密着だからこそなせる緻密な情報網と初動の速さ、圧倒的組織力は、我々、消防吏員でも補えない要素。毎回の現場で心強く感じています」と力説。福智町消防団の技術力についても「訓練の積み重ねで高い水準にある」と好評を示します。「将来的には、現場で戦術的に活動するため、消防団と消防隊の合同訓練なども実施したい」と抱負を語る沖島さん。「今後も消防団との連携を深め、福智町の安心安全のために尽くしていきます」と決意を固めていました。

あなたの力が、まちを守る力になる。

福智町消防団員募集

Fukuchi Volunteer Firefighter Wanted

火災だけでなく、災害発生時や平常時にも出動し、日夜、町の安心安全を守っている「福智町消防団」。近年では災害の多発化により必要性が高まっているものの、団員不足が深刻な問題となっています。そこで今回は、消防団の重要性や課題、関係者の声を紹介。あなたの力をここで発揮しませんか――

防火・防災担う町の消防団 多方面にわたって活躍中

燃えさかる炎を前に、消防隊員に混じり、町内で発生した火災と向き合う地域の人々の姿があります。それが、福智町消防団です。古くは江戸時代より、地域の「町火消」として存在してきた消防団。現在では、消防本部や消防署と同じく「消防組織法」に基づいた消防組織として各地に設置されています。その活動は、非常時から平常時まで多岐にわたり、「消防団」とい

う名前にもある「消火活動」をはじめとして、災害時における避難・救助支援などの「災害対応」、平常時から訓練や啓発活動などを展開。時代が移り変わった今でも、地域に根付いた防火・防災の担い手として、日々活躍しています。

消防隊と消防団の連携で 守る暮らしの安心安全

「見同じように思える「消防隊」と「消防団」。では、その違いは一体どこにあるのでしょうか。

「消防隊」は、専門的で高度な知識と技術を有する常勤の地方公務員である「消防吏員」で組織されています。一方、「消防団」は、別の仕事を本業とする地域住民が、非常勤特別職の地方公務員である「消防団員」として多くの人数で組織されている点にあります。「消防隊」がもつ「防火防災に関する高度な専門知識・技術力」と、消防団がもつ「地域の事情に精通したマンパワー」。両者の連携による相乗効果によって、私たちが日々営む暮らしの安心安全が守られているのです。



Special Interview ▶ 福智町消防団 **世良 喜彦** 団長

火 災はもちもん、近年激甚化する自然災害により、ますます消防団の重要性が高まっています。その一方で、高齢化や人口流出、地域コミュニティの希薄化などの問題から、全国の消防団員数が毎年1万人以上減り続けているという危機的状況になっています。これらは他人事ではなく、福智町消防団でも、定員割れの恒常化や団員の高齢化、若年層の入団者減少が深刻な問題になりつつあるため、担い手不足解消に向け、団員の処遇改善にいち早く着手するなど、団員第一の運営を積極的に取り組んでいます。

我々「福智町消防団」が強固な地域防災の要であり続けるためには、性別や出身などを問わず、地域で生活する皆さんの力が不可欠です。地域を守るということは、自分大切な人を守ることにもつながります。ぜひ、皆さんの力を「福智町消防団」にお貸しください。

現役で活躍する消防団員のリアル。

福智町消防団員の声

Fukuchi Volunteer Firefighter Wanted

令和5年4月1日現在で353人の団員が所属する「福智町消防団」。一見多いと思いきや、高齢化や人口流出、地域コミュニティの希薄化などで、ここ数年は定員の395人を下回る状態が続いています。地域における防災の要である「福智町消防団」が抱えている課題や団員のリアルな声をご紹介します。

※令和5年4月1日現在の情報で掲載しています。

緑ヶ丘ニュータウン、赤池ニュータウン、生力ニュータウン、桜ニュータウン、サンタウン、工場団地

第10分団 団員数 ▶ 10人

【管轄】天郷、大浦、上谷、中谷、下谷、諏訪山

第7分団 団員数 ▶ 28人

【管轄】上弁城、新町、浄万寺、久六、春田、迫、宝珠、草場、二川田

第4分団 団員数 ▶ 25人

【管轄】東古門、中古門、西古門、大黒、東長浦

第1分団 団員数 ▶ 39人

【管轄】敷島町、新町、本町、天神町、昭和町、宝見、人見

第13分団 団員数 ▶ 19人

【管轄】東組、中組、西組、岩屋組、上の原、板屋、本町、貴船、旭ヶ丘、下町、大和町、昭和町、稲荷町、車道、暁町、徳人原、伏原、高尾、上寿、下寿、西寿

第11分団 団員数 ▶ 17人

【管轄】上組、下組、春日、市津、石松、猿田、8の1～8の5、吉ヶ浦

第8分団 団員数 ▶ 18人

【管轄】上里、中里、山崎、大谷、高見台、板取、北田

第5分団 団員数 ▶ 24人

【管轄】八幡町、鶴ヶ丘、大正町、東区、山の手、松原、矢久保、荻ヶ原、職員区、犬星、後谷、前村、大正町、湧淵

第2分団 団員数 ▶ 16人

【管轄】東金田、西金田、堀川

第14分団 団員数 ▶ 39人

【管轄】神崎、南木、福吉、竹本、太陽、星ヶ丘

第12分団 団員数 ▶ 19人

【管轄】松本、朝日町、中央台、上桜、下桜、西ヶ丘、ひまわり、中町、南町、東町、北町、新町、花園、コスモタウン、小藤、西町、下西町、伏原

第9分団 団員数 ▶ 15人

【管轄】天郷、皿山、小路、原、堀田、常福、今屋敷、原田、薬王寺、大久保

第6分団 団員数 ▶ 19人

【管轄】丸山、長浦、見六、広谷、中原、新門、野添、東ヶ丘

第3分団 団員数 ▶ 19人

【管轄】上金田、平原、高見町

地域分団紹介



消防団 Information 4

福智町消防団員募集中!

対象者 ▶ 性別問わず、下記に該当する人

- ① 町内に居住する人、または勤務する人
- ② 18歳以上で身体ともに健康な人

主な消防団員の待遇 ▶

- 公務災害補償・福祉共済の完備
- 町や県、国の表彰制度あり
- 消防団活動に必要な被服貸与



※ その他は、町HPで公開中。上の二次元コードからご確認ください。

入団の問い合わせ ▶ 福智町役場 防災管理・管財課 防災危機管理係 (☎0947-22-7771) または、お近くの消防団員へお問い合わせください。

地域を救うHEROに!

第13分団 吉松 賢太郎 団員

生まれ育った町に貢献するため、入団を決めました。最初は、消防団の活動を、消防隊のお手伝い程度だと勝手に想像していましたが、いざ出勤すると団員のかたがホースを握って消火活動していたため、本当に驚きました。今では自分も第一線で消火活動を実施しています。やりがいは何といっても、地域のかたからの「ありがとう」。皆さんの力を消防団で生かし、一緒に地域のヒーローになりませんか。



団の活動は人生の「+」

第7分団 原口 将光 団員

消防団といえば「危険・大変」というイメージが強く、入団当初は家族から心配されていましたが、福智町消防団は「安全第一・仕事優先」で活動しているため思っていた程の負担はなく、今では家族からも応援してもらっています。また、入団したことで地域をより知ることができ、新たな人とのつながりもできました。入団を検討されている人は難しく考えず、まずは一步を踏み出してみたいかがでしょうか。



Special Interview ▶ 各地区で活躍する福智町消防団

自分の町は、自分で守る

第1分団 池田 雅裕 団員

父や地元の先輩たちが消防団員として活躍する姿を見て育ってきたため、自然な流れで消防団に入団しました。最初は何をすればいいのかわからずでしたが、消防ポンプ操法の訓練を積んでいくうちに、火災現場の状況を見て、自分の動きを判断できるようになりました。消防団で培ったものは本業にも生かしています。地元の人も、そうでない人も、自分が暮らす町を自分たちの力で守りませんか。

